

東御市文化協会報

せせらぎ

第 23 号
平成 16 年 12 月 1 日
発行 東御市文化協会
印刷 東部プリント(加沢)



東御市発足記念式典市民コンサート

平成16年7月17日 東御市文化会館(サンテラスホール)



「東御市発足記念式典」後、
第二部の市民コンサートに、
文化協会合唱部会の会員百五
名が参加し、合唱を披露した。
新しく文化協会へ加盟した北
御牧からの参加もあり、当日
を含め数回の練習を重ね、同
じ曲を歌い上げる喜びを共に
味わった。

黒柳隆次部会長の「東御市
が未来へ向かって大きく羽ば
たく様に、そしてそこに住み
生活していく人達が、恵まれ
た自然に感謝し、健康で心豊
かに生きられる様な、そんな
願いを込めて歌ってください。
という挨拶を受け、「翼をくだ
さい」「ふるさと」「大地讃頌」
の三曲を合唱した。

合唱指揮、指導は山丸洋子
さん、合唱と発声指導は小山
洋代さん、ピアノ伴奏は堀口
貴子さんで、十グループの合
唱団が声を合せて新市発足を
祝った。

のかけはし

新たなスタート
よろしくお願ひします。

(平成16年度)



東御市文化協会役員名簿

会長	福島	島屋	慎志	雄郎
副会長	土小	林原	征俊	志子
副監	荻佐	藤	芳充	子雄
理事				
常任				
絵画部	高掛	藤川	俊	幸栄
水墨画部	金井	川	清一	夫郎
写真部	山近	岸喰	和一	夫明
書道部	船山	田崎	利	江誠
彫刻部	関		く	雄次
民謡部	福黒	島柳	慎隆	子子
舞踊部	細出	山浦	城光	子子
詩吟部	中佐	尾藤	ひろ	子子
謡曲部	出荒	井賀	充安	子美
合唱部	有塩	賀入	久静	子夫
華道部	野青	木田	靖一	夫直
茶道部	太山	田	正	元郎
手芸部	関清	野本	賢	竜
ちぎり絵部	橋佐	藤山	み	治男
人形部	丸小	林松	雄	子泉
菊花部	小瀬	田	信	忠
短歌部				
俳句部				
陶芸部				
音楽部				
ダンス部				
棋道部				
文芸創作部				
手芸部				
邦楽部				
川柳部				
表具部				
せせらぎ部				
カラオケ部				
郷土史部				

新しい東御市の文化活動について



東御市長
土屋 哲男

いま、オフトーク通信で『私の大切な人は家族です』と小学校の子どもが述べているのを聴いて、私はこの子に教えられているなあと、しみじみ感じています。『生徒』は私で『先生』はこの児童です。

人はひとりひとりに個性があり、同じ人間はいません。すべての人がオンリー・ワンと考えれば、誰れもが先生になる素質を持っていると思います。

講演会、学校等々学習形態はいろいろです。本物に触れることは勿論大切です。

けれど、身近なところに『生涯学習のネタ』は沢山あります。お互いが持ち合っている知識や経験・体験を交換しながら成長していく。

これからの東御市の生涯学習は『共育』だという発想が市民全体で共有できたら、大人も子供も、互いに助け合い、尊敬しあえる社会が築かれていくと考えます。

新しい東御市の文化活動は、市民全員が『先生』に『生徒』になり、その土台を支えて下さることを希望しております。

文化交流



会員が求めるグループ活動



東御市公民館長
今泉 正毅

東御市となって、本年度新たに長野県18市公民館運営協議会の一員として温かく迎え入れていただきました。そこでも、東御市の生涯学習、文化協会の活動も高い評価を得ていると感じました。歴史の長いものから、最近のものまで、数多くの部会やグループがあ

って、幅広く文化活動に参加され、成果をあげられ、有り難いことです。

今後、更なる充実発展を願って、グループを創設する場合、生活や地域の課題に根ざした、例えば、人間関係を学ぶカウンセリング(相談)、古典等の読み合わせ、野菜や花づくり、パソコン等の情報関連学習、国際交流・語学研修などはいかががでしょうか。

また、初心者、ベテランが意欲的に参加し共に学び合えるように、要望や実力に応じた活動の工夫。

これからの生涯学習のあり方



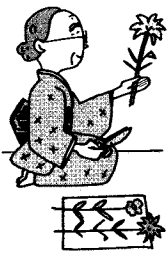
東御市文化協会長
福島 慎雄

町村合併により、文化協会も四月の総合において東御市文化協会として、発足しました。私たちを取りまく環境は、少子高齢化に始まり、様々な分野で急速な変化が起っており、こうした中で、市民の多様なニーズに応え、潤いのある生活、住みよい街づくり、そして豊かな人間性の育成等に向け、生涯学習の推進が、更に求められておるところです。

忙しい社会の中で、物の豊かさから、

心の豊かさを求め、参加した人達が、創る喜び、演じる喜びを経験する中で、仲間同志の心のふれあいを感じておられると思います。この感動を自分だけでしまっておかないで、友達、地域の人達をさそって、この喜びを味わってもらおう活動の輪を拡げて行くことが、重要だと考えます。

現在、総合文化フェスティバルは、作品の展示、発表の場として、個人も含め、二十三部会合同で実施しております。大勢の人に鑑賞してもらい、興味をもってもらう意図から、これからは、個々で実施の他に、合同での発表の機会も作っていきたいと考えています。



グループの講師やリーダーとグループ員が親しくふれ合い、交流を深めるなどして、一層明るく開かれた人のつながりを築き、お互いが生きがいや満足感のもてる文化活動にしていくことはいかががでしょうか。

平成16年度 東御市文化協会 功労者表彰受賞者



節 嘉子 高橋 青木
人形部会 藤手芸部会



更なるあゆみを

文化協会副会長 小林 俊子



平成十六年度の東御市文化協会は、三十部会、二〇四グループ、一八四四名を擁しており、旧東部町文化協会から教えて、三十二年目になります。

実は、平成十四年に文化協会発足三十周年にちなんで、九月七日に、記念式典、海老名香葉子さんの講演、功労者表彰を行い、記念誌「あゆみ」を発行しました。

中でも「あゆみ」は、約一年かけて八十二ページの分厚いものが上梓されたのですが、その編集は困難なもので、三十年間の記録がきちんとした形で残っていなかったため、手がかりとなる資料探しから始まりました。

東部町広報の昭和四十八年十二月号掲載の『あなたも参加を、会費五十円で文化協会発足』の記事が、第一発見の貴重な原稿でした。

発足から約十年間の活動の記録は空白状態。昭和五十八年に十周年記念の立派な会員名簿が発行され、加盟団体八十二、会員千七百人の活動ぶりでした。

昭和六十年からの総会議案書、昭和五十九年創刊の会報「せせらぎ」が現在二十二号まで、会員名簿が二年に一度発行で七冊目、古い金銭出納帳から現在の会計簿までがそろい、これら貴重な資料を残す活動が築いてきた先輩の情熱と地味な努力を私たちも大事に受け継いで、更に充実した文化活動をあゆみ続けたいと思います。

「あゆみ」は十四年度の全会員に配布して、各部会の歩みを紹介していますので、ここでは繰り返しません。ぜひ再度読まれて、更に大勢の参加を頂き、会の発展を期したいと願っています。

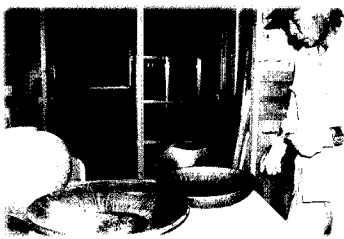
グループ訪問



TNSジャズオーケストラ“クリニック”と言われる音の診断日でした!



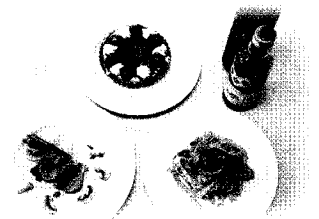
さくら会 (俳句)



窯出し 陶芸グループ



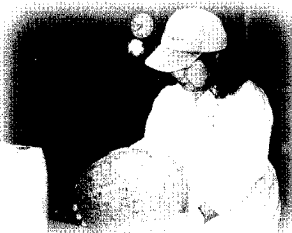
東部ソーシャルダンスクラブ



モナリザ (料理)



陶芸グループ



陶芸グループ



モナリザ

東御市文化協会には、こんな部会があります。

事務局：東御市文化会館内（H16年現在）

部 会 名		グループ数	部 会 名		グループ数
1	絵 画 部 会	4	16	菊 花 部 会	1
2	水 墨 画 部 会	2	17	短 歌 部 会	3
3	写 真 部 会	2	18	俳 句 部 会	4
4	書 道 部 会	22	19	陶 芸 部 会	3
5	彫 刻 部 会	4	20	音 楽 部 会	6
6	民 謡 部 会	14	21	ダ ンス 部 会	3
7	舞 踊 部 会	28	22	棋 道 部 会	2
8	詩 吟 部 会	6	23	文 芸 創 作 部 会	6
9	謡 曲 部 会	4	24	籐 手 芸 部 会	3
10	合 唱 部 会	11	25	邦 楽 部 会	14
11	華 道 部 会	8	26	川 柳 部 会	2
12	茶 道 部 会	5	27	表 具 部 会	2
13	手 芸 部 会	12	28	せ せ ら ぎ 部 会	10
14	ち ぎ り 絵 部 会	3	29	カ ラ オ ケ 部 会	17
15	人 形 部 会	2	30	郷 土 史 部 会	1

八装会(表具)

寺島 正樹

掛け軸の型については、昔ながらの、丸表具から風帯の付いたもの、明朝仕立てなど、いろいろの種類があります。また現代は環境の変化に伴い、新しいデザインのものも多くなってきておりますが、基になる寸法は昔からの軸の寸法から割り出しています。伝統を大事にしている証拠です。

表具教室は現在八装会だけではありません。男性が七名女性が二名です。全く知らなかった人達が自分で一つの作品を造ることによって、お互いに親しくなり、人と人との和が広がります。その日の実習は緊張の連続ですが、終わって講師と受講生の皆さんとお茶を飲みながらの反省会があり、色々の雑談をし次回の工程など話し合いがあるので、これが楽しい勉強会となっております。



囲碁大会で入賞されたみなさん

東御支部第十五回「文化協会長杯」が、七月二十五日東御市中央公民館に於いて、三十六名の参加者により開催されました。

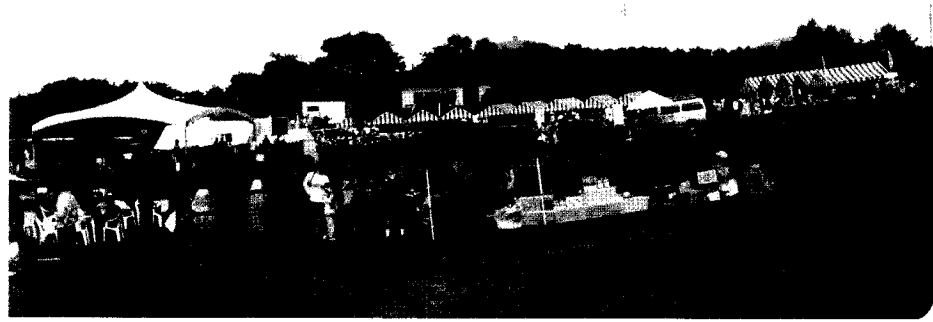
A組(三段以上) B組(二段以下)

優勝 伊藤 豊 優勝 中山尊文

準優勝 増田宣夫 準優勝 瀬田俊典

三位 正村雄治 三位 渡辺政義

ント広場



2004 火のフェスティバル

10月9日(土) 10日(日)
AM10:00 ~ PM 4:00 AM10:00 ~ PM 3:00
場所 / 八重原芸術むら公園

火のフェスティバル
2004
火と水と人々の出会い。



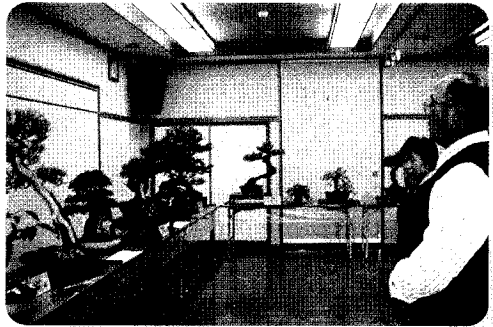
▲「糸ノコとどうぶつ」づくり



▲明神池のガモと一緒に



▲紙すき体験



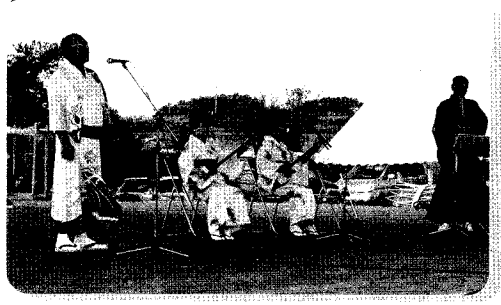
▲みことな盆栽



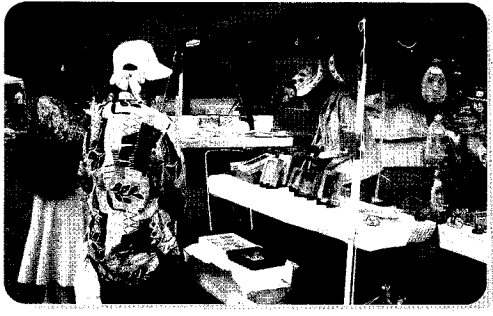
▲イベント広場 名立町の味



▲いきいき花・野菜市



▲イベント広場にて



▲クラフト市



▲雷電こま相撲



▲七宝焼・ヒース玉細工



▲ふわふわすべり台



▲環境プロジェクト店 (北御牧中学)



▲古代からの情熱の炎▼



▲プランターづくり



▲バザー

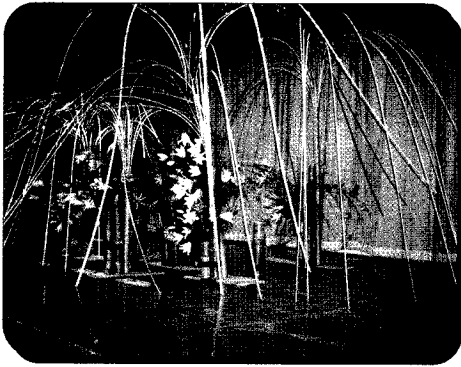


▲陶芸市

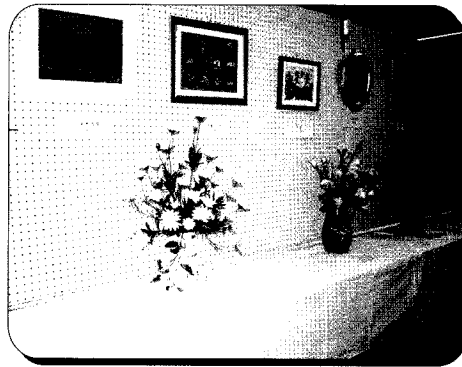


平成16年度 東御市総合文化フェスティバル

第1回 10月29日～31日 中央公民館



▲ 華々と秋の装い (生花)



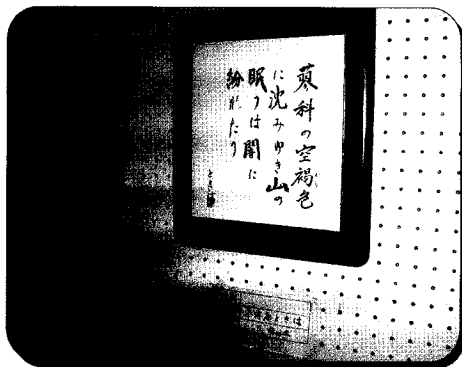
▲ 生花のようでしょう? (押花、パンフラワー)



▲ お嫁に行く時は、私も連れてって (人形)



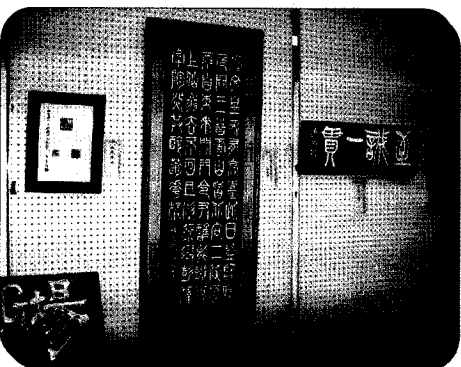
▲ 児童のすばらしい感性に感動! (絵画)



▲ 夕暮れの山の様子がわかります (短歌)



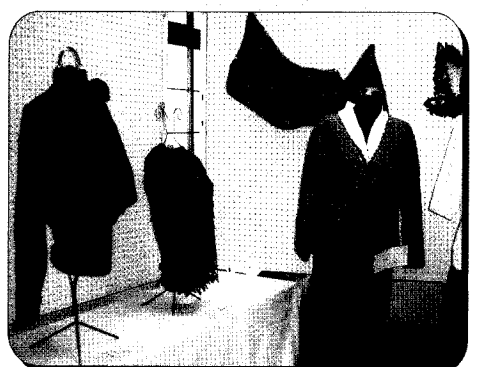
▲ プロ顔まけの出来ばえ! (籐手芸)



▲ 根気よく刻られた様子に感動します (篆刻)



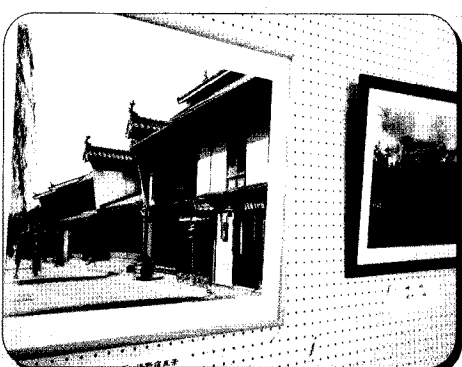
▲ それぞれの個性豊かに表現 (絵画)



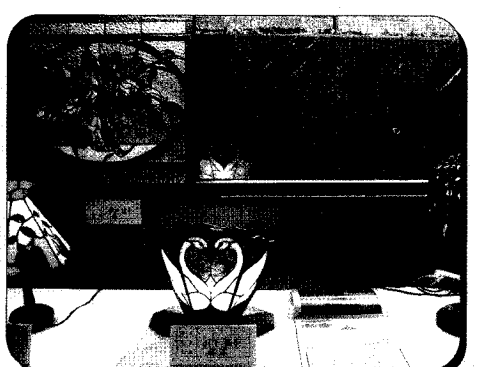
▲ 模様編みかすばらしい (編物)



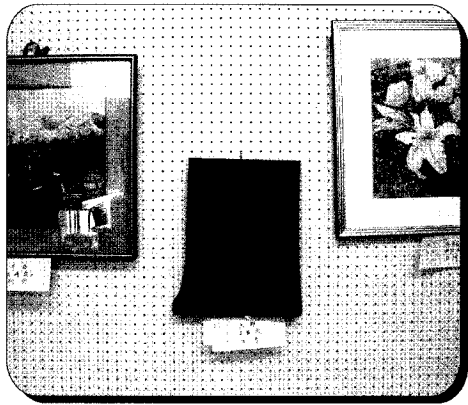
▲ 墨の濃淡の奥深さに感動 (水墨画)



▲ プロ顔まけの力作揃い (写真)



▲ 素敵なスタンドグラス!



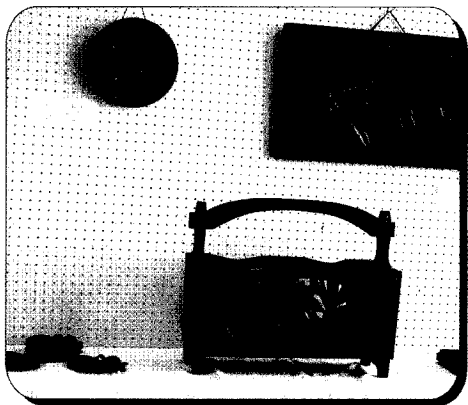
▲ 力作ぞろいでしょう (障害者コーナー)



▲ 初参加のみごとな腕前 (御牧墨遊会)



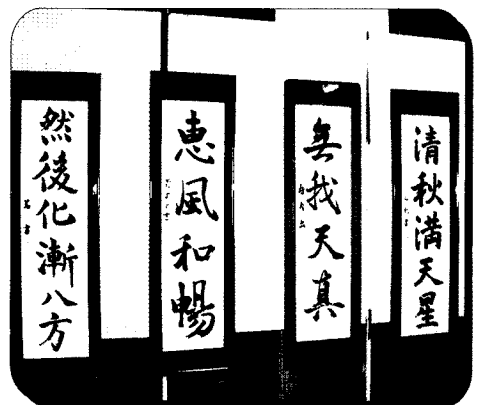
▲ 草木染めの和紙から生まれました (ちぎり絵)



▲ 味わい深い作品です (木彫)



▲ 結構なお点前でした (茶道)



▲ 見事な筆の動きが感じられます (書道)



▲ 形、色あいすばらしいですね (陶芸)



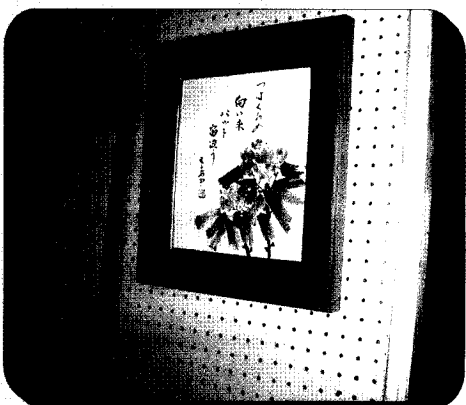
▲ 一生わたしの宝もの (レザークラフト)



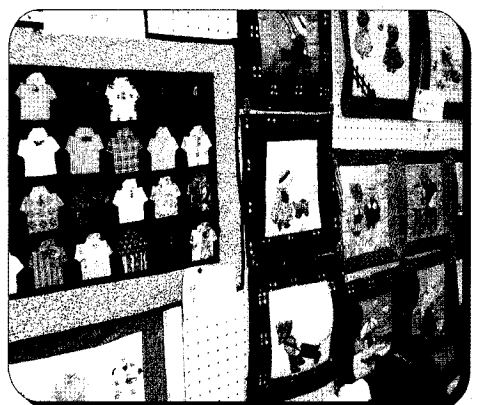
▲ どこに飾ろうかしら? (ハートフルフラワー)



▲ フレッシュママさんガンバリ! (そと遊びの会)



▲ 創作する時のたのしさがよい (俳句)



▲ 一針ひとりはから生れる (パッチワーク)

第1回東御市短詩型文学祭入賞者

短歌の部	市長賞	飯高紀志子
	教育委員会賞	児玉悦子
	公民館長賞	馬詰芳枝
	文化協会賞	岩崎キク
俳句の部	市長賞	若林敏子
	教育委員会賞	富岡博見
	公民館長賞	小林ちせ
	文化協会賞	斉藤成實
川柳の部	市長賞	諸山照男
	教育委員会賞	倉持巴
	公民館長賞	上野秀湖
	文化協会賞	五十嵐茂子
現代詩	市長賞	宮坂春代
	教育委員会賞	栗原陽子
	公民館長賞	長澤郁子
	文化協会賞	栗原裕介

平成16年度第1回東御市菊花展受賞者

市長賞	依田 勅
議長賞	小林 孝子
教育委員長賞	柳沢 廉
菊花会長賞	祢津小学校
公民館長賞	別府 俊勇
文化協会賞	半田 栄
商工会長賞	岡本 愛子
J A信州うえだ組合賞	宮下 正之
八十二銀行田中支店賞	竹内 進
上田信用金庫東支店賞	中内 文江
菊花会特別賞	荒井 久美

日本文化の伝承刀剣作家 宮入法廣さんを尋ねて



宮入さんはこれまで数多くの作刀に優秀賞を受賞されています。

- 平成十五年 横綱朝青龍土俵入太刀謹作
- 高円宮憲仁殿下次女典子様、妃殿下久子様、三女絢子様、それぞれ御守刀謹作献上
- 平成十六年 現在
- 東御市無形文化財認定
- 文化庁美術刀剣技術保存研修会講師
- 作刀技術研修会講師
- 日本刀剣保存会評議員
- 日本刀匠会副会長

法廣さん(八重原在住)は刀匠宮入清平さんの長男として立科に生まれ、また人間国宝、故宮入行平さんは伯父にあたります。

さて日本刀の本来の原料は私達が毎日使っているような鉄ではなく、玉鋼(たまはがね)とよばれる砂鉄からできたものだそうです。現物を見るのははじめてでした。写真のものは約3kgほどの、ずっしりとした重い多孔質で、一見溶岩のようなものです。

製錬するにはその玉鋼を高温の炉の中に入れ、赤くなるまで焼き、取り出して叩き、伸ばし折り曲げる。このような鍛造を幾度となくくり返し行うことによって次第に鉄の成分が均一化されてゆくのです。

そして最後に「焼き入れ」をします。この時が一番重要なことでその一瞬によって刀が失敗作になるか名作に仕上がるかが、きまってしまうということなのです。

一塊の玉鋼が鍛造や成形、研磨などの操作によって深い透明感のある日本刀に生れかわります。工程にして六十以上、日程にして四か月ほどかかるようです。

日本刀がもつ美しさは、いつさいの無駄をはぶき、ただ純粋に「よく切れるには」という合理性だけを追求した結果において生まれた火と水と鉄との芸術作品であるということでしょうか。

平成16年度文化協会のあゆみ

- 平成16年12月6日 東部町合唱祭
- 平成17年1月6日 第12回新春書き初め大会
- 2月8日 第12回東部町邦楽部発表会
- 3月5日 第9回書道部会会員展
- 14日 第25回東部町舞踊部発表会
- 28日 第24回琴伝流大正琴発表会
- 4月3日 第6回東御市・大田区交流囲碁大会
- 13日 第54回東御美術会会員展
- 16日 東御市文化協会総会
- 29日 第25回民謡部発表会
- 5月13日 いきいき生涯学習塾開講式
- 14日 第9回香東会書展
- 6月20日 第35回聖風流吟道大会
- 7月25日 棋道部会 第15回文化協会長杯囲碁大会
- 8月29日 第9回東御市カラオケ部発表会
- 9月15日 写真部会 写真SFC第8回 ちいさなちいさな写真展
- 10月6日 絵画部会 まるにえ絵画展
- 10月6日 文化協会役員研修会
- 13日 東御美術会テーマ展
- 29日 菊花部会 菊花展
- 10月29日~31日 東御市総合文化フェスティバル
- 30日 第22回T.N.S.ジャズオケフェスティバル演奏会
- 11月21日 東御市短詩型文学祭
- 23日 絵画部会 第1回水彩同友会会員展
- 12月1日 「せせらぎ」 23号発行

文化協会役員研修会

十月六日、雨上がりのまばゆいばかりの秋晴れのもと二十七名の役員の方々と一緒に南信駒ヶ根方面へ研修に行きました。

養命酒の駒ヶ根工場では製造工程を見学し、伊那の「かんでんばばガーデン」では、見学の他、ホール内で催されていた写真展、絵画展も見ることが出来、芸術の秋を感じました。昼食では、役員の間が深まり、ハーモニカの演奏もありました。帰りは、諏訪の原田泰二美術館で、細かい筆のタッチで心の和むあたたかな絵画に触れ、充実感を味わいました。キルト展も開催されており、あまりの素晴らしさにおもわず声が出てしまっ程でした。



二年間、文化協会報の編集に関わり、多くの方にお世話になり、ありがとうございました。

編集後記

○編集に当り多くの皆様によく寄稿していただき「せせらぎ23号」が完成しました。この紙面をかりて心より御礼申し上げます。

○文化協会の多くの人々と出会う事ができて、感謝しています。 深井佐代子

○大勢の皆様が感動喜びを求めて、その道に励んでいる姿に感銘しました。堀 悦子

○菊の香りと共に文化の香りも届きました。しょうか。お世話になりました。堀口陸美

○取材を通し生き生きと活動されている皆さんからエネルギーを頂きました。山浦 桂子